

- 北区では、森林環境譲与税について、子どもが木材に親しむ環境づくりに寄与する事業に優先して充当する方針である。
- 令和7年度は、本事業で生産した剪定枝等由来の木チップを公園の遊具下の緩衝材として敷き均したり、生産した腐葉土を区主催環境イベントで配布したほか、保育園や学校の花壇の土壌改良剤として提供するなどした。

□ 事業内容

公園樹木の剪定枝等のチップ化および堆肥化事業

- ・ 区立公園等の樹木剪定・伐採で生じた剪定枝や幹の集積（中央公園内）
- ・ 薪割り、チップパーでの枝葉木粉碎
- ・ 堆肥材切り返し（地下培養室で一年間の発酵作業）
- ・ 公園・学校等提供地までの運搬、チップ材敷き均し
- ・ 以上一連の委託事業

【事業費】16,715千円（うち譲与税16,715千円）

【実績】生産したチップ量 390m³

生産した腐葉土量 36m³

□ 取組の背景

- ・ 平成5年に中央公園内に緑のリサイクル施設を建設、事業開始。
- ・ 従来、剪定枝等を焼却処理していたが、都市化の発展により周辺から苦情が寄せられるなどしたため、新たな処理方法として導入された。
- ・ その後、現在に至るまで事業を継続実施。



生産したチップ・腐葉土



グリーンフェスタでの腐葉土無料配布

□ 工夫・留意した点

- ・ 集積地への剪定枝等持ち込み状況に応じ、適宜作業量を調整できるよう単価契約による委託とした
- ・ テニスコート、サイクリングコース等の公園内近隣スポーツ施設利用者への配慮・情報共有に留意した
- ・ 腐葉土は個人が自由に持ち帰れるよう、園内で無料開放し、その旨区HPに掲載した

□ 取組の効果

- ・ 樹木管理作業の発生材処分費の抑制
- ・ 資源の地域内循環
- ・ 学校や保育の場での学習材料、環境配慮意識醸成

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：42,560千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 北区では、森林環境譲与税について、子どもが木材に親しむ環境づくりに寄与する事業に優先して充当する方針である。
- 令和7年度は、谷端小学校のリノベーション工事において、家具や壁面に木材を活用し、内装の木質化を図った。

□ 事業内容

リノベーション工事に伴う内装の木質化

- ・谷端小学校リノベーション事業（令和8年9月まで）
内装の一部及び家具の木質化ほか

【事業費】266,590千円（うち譲与税6,932千円）

【実績】国産材使用量 3.8m³



（普通教室）

□ 工夫・留意した点

教室や昇降口などの家具に木材を効果的に活用した。

壁の一部に木材を使用したことにより、木に囲まれた落ち着きのある学習環境を実現した。

手が触れやすい家具の天板や扉、ベンチに国産メジロカバを使用し、暖かみのある空間とした。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：42,560千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 北区では、森林環境譲与税について、子どもが木材に親しむ環境づくりに寄与する事業に優先して充当する方針である。
- 令和7年度は、子供に人気のある既存の木製アスレチック遊具を修繕し、より安全に木材に親しめる施設とする取組を実施。

□ 事業内容

既存の木製アスレチック遊具の修繕

- 遊具の部材のうち経年劣化（摩耗、腐朽）した部材の交換を実施した。
- 遊具の点検結果に基づき部材の付替え、追加を実施することで安全性の向上を図った。

【事業費】5,020千円（うち譲与税5,020千円）

【実績】木材使用量 1. 1 1 8 m³

□ 取組の背景

- 修繕対象となった木製遊具は、公園の樹林地内に設置されたもので、木材に親しみながら楽しく利用できる遊具として子どもに人気のある遊具の一つである。しかし、木製部材を中心に経年劣化がみられるとともに、遊具の構造において、より安全性の向上が求められていたので、検討の結果修繕することとした。

□ 工夫・留意した点

- 遊具の点検結果をもとに木製遊具メーカーと現地調査を実施して交換部材の特定、安全性向上のための部材の付替えや追加を行った。
- 追加する木製部材は、長く使用できるよう防腐・防蟻処理を実施した部材を採用した。

□ 取組の効果

- 修繕を行った結果、子どもがより安全に遊具を利用できるようになった。
- 子どもに人気のある木製アスレチック遊具の長寿命化が図れた。



（ネットクライム）



（丸太渡り）



（つり橋）

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：42,560千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 北区では、森林環境譲与税について、子どもが木材に親しむ環境づくりに寄与する事業に優先して充当する方針である。
- 令和7年度は、木材を活用し、7か所の保育園で園児用椅子の購入を行った。

□ 事業内容

園児用椅子の老朽化に伴う木材を活用した椅子の買替購入

- 区立保育園25園のうち、7か所の保育園で木製の園児用椅子を購入した。

【事業費】 2,342千円（うち譲与税2,342千円）

【実績】 木製の園児用椅子234脚購入



（北区立西ヶ原保育園保育室）

□ 工夫・留意した点

- 7か所の保育園で老朽化が特に目立つ従来使用の園児用椅子、計234脚を更新した。

□ 取組の効果

- 新たに更新した木製椅子の利用により、落ち着きのある保育空間を実現した。



（乳児・園児用椅子）



（幼児・園児用椅子）

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：42,560千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 北区では、森林環境譲与税について、子どもが木材に親しむ環境づくりに寄与する事業に優先して充当する方針である。
- 令和7年度は、区立学校の給食用の京華木の箸を購入した。

□ 事業内容

学校給食用の京華木の箸の購入

【事業費】1,392千円（うち譲与税1,392千円）

【実績】小学校4校 2,420膳
中学校2校 1,160膳 合計3,580膳



（学校給食）

□ 取組の背景

- 区立学校の給食用の京華木の箸の老朽化に伴い、順次、入れ替えを行っている。

□ 取組の効果

- 京華木の箸は滑りにくく、児童生徒が適切なはしの持ち方や使い方を学ぶことに適している。
- 木目の美しい京華木の箸を取り入れることで、給食時間に自然のぬくもりが添えられ、食事に温かみが増した。



（京華木のはし）

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：42,560千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

東京都 北区（環境学習事業）

- ▶ 北区では、「北区環境基本計画2023」の重点施策として掲げている自治体連携による森林整備の取組みを推進している。
- ▶ 令和7年度は、友好都市等における森林資源を活用し、森林整備体験学習を実施した。

□ 事業内容

・区内在住、在学の小学校5・6年生を対象に、連携先自治体である群馬県中之条町及び北海道清水町における森林資源を活用した森林整備体験学習を実施した。

【事業費】4,608千円（うち譲与税4,608千円）

【実績】群馬県中之条町：15名の参加
北海道清水町：26名の参加

□ 取組の背景

- ・北区は、北区環境基本計画2023において、自治体連携による森林整備の取組みを推進することを重点施策として掲げている。
- ・その取組みの一環として、友好都市である群馬県中之条町及び渋沢栄一とのつながりで連携している北海道清水町との関わりを生かし、それぞれの住民を対象にした森林整備体験学習を共催により実施することとなった。



（植樹の様子）



（間伐体験の様子）

□ 工夫・留意した点

- ・連携先の自治体とは事前に連絡を取り、地元の各関係団体にもご協力をいただきながら、植樹や間伐などの行程内容を計画した。
- ・地元の子ども達との交流を図るため北海道清水町ではホームステイでの宿泊を行った。
- ・実施後に、体験学習に参加して感じたこと等を発表する参加者報告会を実施した。

□ 取組の効果

- ・都市部ではあまり体験できない実際の森林整備を体験してもらう機会を提供することで、地球温暖化対策の意識醸成に繋がる。
- ・連携先自治体である群馬県中之条町と北海道清水町の自然を体感でき、また現地の方との話を通じて文化を学ぶことができる。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：42,560千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人		⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 北区では、「北区環境基本計画2023」の重点施策として掲げている自治体連携による森林整備の取組みを推進している。
- 令和7年度は、友好都市等の森林整備を支援するとともに北区の二酸化炭素排出量と相殺するカーボン・オフセットを実施した。

□ 事業内容

- ・「北区ゼロカーボンシティ」の実現を推し進めるため、連携先自治体である群馬県中之条町及び北海道清水町の森林整備を支援した。また森林のCO2吸収量認証制度により群馬県からCO2吸収量の認証を受けるとともに、北海道清水町が販売するJ-クレジットを北区が購入し、北区の二酸化炭素排出量と相殺した。

【事業費】5,551千円（うち譲与税5,551千円）

【実績】・群馬県中之条町での整備

植樹及び下刈り：7ヘクタール

- ・北海道清水町での整備（植樹及び下刈り）

植樹及び下刈り：6ヘクタール

- ・森林のCO2吸収量認証

中之条町：7.9t-CO2

- ・J-クレジット購入

清水町：427t-CO2



（森林のCO2吸収量認証書）



（J-クレジット購入証明書）

□ 取組の背景

- ・北区は、北区環境基本計画2023において、自治体連携による森林整備の取組みを推進することを重点施策として掲げている。
- ・その取組みの一環として、友好都市である群馬県中之条町及び渋沢栄一とのつながりで連携している北海道清水町との関わりを生かし、相互に協力して森林整備を実施することで、二酸化炭素吸収量の増加を図ることとした。

□ 工夫・留意した点

- ・森林の少ない北区においても、カーボンオフセットを活用することで二酸化炭素吸収量の増加に寄与した。

□ 取組の効果

- ・森林のCO2吸収量認証制度を活用して7.9t-CO2の認証を受けた。
- ・J-クレジットの購入により北区の二酸化炭素排出量から427t-CO2相当を相殺した。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：42,560千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より